

まちづくり達成状況報告書（事務事業点検シート）

課等名：保健推進課 シートNo：23 作成日：2024/2/14

① 総合計画上の位置付けと事務事業説明

後期 基本 計画	施策の大綱	Ⅱ 保健・医療・福祉の充実	背景・課題	目的・意図
	施策の目標	2市民が相互に支え合う福祉を進める	核家族化による支援者不足により、育児不安を抱える保護者が増えている中で情報化が進み、知りたい情報をSNSから得ている状況です。 発達面などにおいて育てにくさを抱えている保護者が増えているなかで、相談先がわからないまま孤立化してしまう恐れがあります。 定期的な教室や健診及び相談事業を通し保護者に寄りそい、孤立してしまうことがないよう支援していく必要があります。	定期的な相談や教室、健診等については、SNSや、母子手帳アプリ「母子モ」等を通じて周知し相談しやすい体制を整えます。 また、健診等を通じて発育や発達面の心身の課題を早期に発見し、医療や療育など、必要な支援につなげます。
	施策	2少子化対策・子育て支援		
	施策内容	妊娠・出産支援の充実		
	その他、根拠法令 及び分野別計画	母子保健法 常総市子ども子育て支援計画・健康プランじょうそう		
	事務事業名	乳幼児健診事業		

② インプット（投入）

主な 予算 科目	会計名	
	一般会計	
	款	衛生費
	項	保健衛生費
	目	母子保健事業費
	事業	妊婦・乳幼児等事業費

③ 主なアクティビティ（活動）とアウトプット（結果）

アクティビティ（活動）				アウトプット（結果）	
活動名	対象者	活動指標（回数・件数・日数等）		活動指標（参加者数・面積等）	
		R5年度実績値	R5年度目標値	R5年度実績値	R5年度目標値
新生児聴覚検査委託事業	新生児	—	—	252人（実施者）	300人
のびのび子育て相談	乳幼児	12回	12回	延べ230人（参加者）	延べ220人（参加者）
乳児健診	3～5か月児	14回	14回	282人（参加者）	300人（参加者）
1歳6か月児健診	1歳6か月児	18回	18回	295人（参加者）	285人（参加者）
5歳児健康相談	年中児（5歳児）	10回	10回	延べ143人	150人（相談者）
巡回相談	保育園等に通う幼児	13回	12回	162人（相談者）	140人（相談者）

④ 初期・中間アウトカム（成果）

指標名	成果指標	
	R5年度実績値	R5年度目標値
3歳児健診参加者数	322人	330人

⑤ 最終アウトカム（成果）

指標名	成果指標	
	R5年度実績値	R9年度目標値
「育てにくさを感じる」保護者のうち「相談先を知っている」割合	81.2%	95%
発達相談希望者のうち相談につながった割合	94.6%	100%

⑥ 点検

改善の余地						今後の方向性		
☐	コスト	☒	活動	☐	成果	☐	その他	引き続き健診や教室の周知を、広報・母子手帳アプリ「母子モ」などのSNS等で行い、情報不足による保護者の孤立を未然に防ぐ体制づくりを目指します。 特に日本語でのコミュニケーションが難しい外国籍住民に対しては、多言語での文書作成や翻訳アプリなどを活用した対話を行い、育児不安の解消につなげます。 現在実施している5歳児健康相談を国の方針に基づき5歳児健康診査へ移行していきます。 今後も、家庭訪問や健診、教室及び相談事業を通して、心身の発育発達の課題を早期に発見し、関係機関と連携をとり継続的に支援を行います。
業務の振り返り								
個別通知で乳児期から健診の受診勧奨を行い、継続的に健診を受けることの必要性を伝え相談の場の提供をしました。 新生児聴覚検査の費用を一部助成し、経済的負担の軽減を図ることができました。 発達面での課題が見えやすくなる3歳児健診では、心理士による相談のほか、必要に応じて別日程での発達相談を案内するなど、育てにくさの解消につなげられる提案を行いました。5歳児健康相談では就学に向けて社会性や理解能力の確認などを行い関係機関と連携をとりました。								